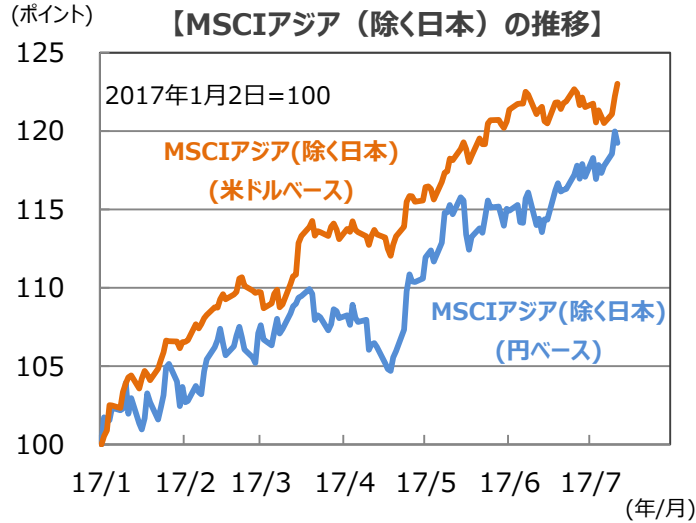


今日のトピック 主要アジア株式市場の見通し

業績回復を支えに上昇基調が続こう

ポイント1 前半は堅調に推移

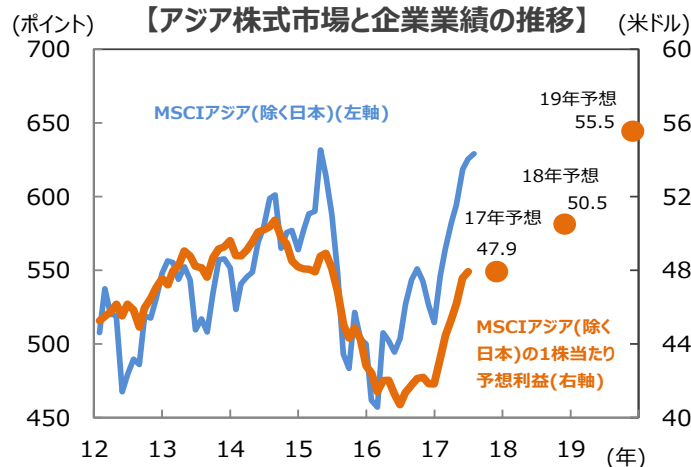
- アジア株式市場を代表する指数の1つであるMSCIアジア（除く日本）（円ベース）は、3月下旬から4月中旬にかけての一時的な調整を除いて、堅調な推移が続いています。足元では年初来高値を更新しています。
- 3月下旬から4月にかけて調整色が強まったのは、北朝鮮のミサイル発射や米軍によるシリア攻撃といった地政学リスク、仏大統領選挙の不透明感の強まりなどからリスクを回避しようとする動きが広がったためでした。リスク回避の「円高・米ドル安」が進んだことが円ベースで見た株価指数の調整要因でした。
- この間、同指数を米ドルベースで見ると、4月中旬にかけての調整は円ベースほど大きなものではなく、その後は年初来高値を更新し続ける展開でした。



(注) データは2017年1月2日～2017年7月12日。MSCIアジア（除く日本）の構成国は中国、韓国、台湾、香港、インド、シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 企業業績の大幅な改善期待が下支え

- アジア株式市場が堅調に推移している要因として、企業業績の大幅な改善と今後の利益成長の継続に対する期待を指摘することができます。1株当たり予想利益（MSCIベース、以下同様）の前年比の伸び率は2015年の▲12.9%を底に、2016年に同+0.08%とプラスに転換し、2017年には同+19.6%と大幅な増益が予想されています。これは、米国企業の増益予想（同+10.8%）を上回るものです。



(注) データは2012年1月末～2017年7月末。2017年7月は12日。2012年～2017年の1株当たり予想利益は12カ月先予想。2018年～2019年の1株当たり予想利益は単年の予想（MSCIベース）。MSCIアジア（除く日本）は米ドルベース。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

- 国別では、さらに堅調な国が存在します。2017年以降3年連続で前年比2桁の増益が予想されている国は、中国、インド、インドネシアです。フィリピンは2017年は1桁の増益予想ですが、2018年以降は2桁の増益が見込まれ、利益成長が加速する見通しです。景気の回復基調がはっきりと確認できる国・地域で企業業績も改善しています。

今後の展開
業績サイクルはようやく回復に向かい始めた段階

- アジア株式市場は、堅調な推移が期待できそうです。世界的な景気回復に加え、在庫調整の進展や景気対策により中国の景気が持ち直しており、順調な企業利益の成長が期待できると考えられるためです。
- また、業績サイクル的には、落ち込んだ業績がようやく回復に向かい始めた段階であり、更なる増益が期待されます。
- 2019年は現在のコンセンサス予想では+10.0%の増益が見込まれています。

【1株当たり予想利益の前年比伸び率】

(単位：%)

国・地域	年	2017年 (予想)	2018年 (予想)	2019年 (予想)
MSCIアジア		19.6	10.5	10.0
中国		15.5	14.4	13.8
韓国		46.7	7.3	5.6
台湾		10.8	7.9	7.4
香港		6.9	6.7	2.6
インド		13.6	18.3	16.5
シンガポール		6.3	6.8	7.2
インドネシア		16.5	13.7	11.9
マレーシア		3.4	6.6	1.6
タイ		7.1	10.6	8.6
フィリピン		3.0	11.6	12.1
<参考> 日本		13.9	7.7	9.9
<参考> 米国		10.8	11.9	10.2
<参考> 全世界		15.2	10.6	9.5

(注) データは2017年7月12日時点の予想。予想はFactSet。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【各国・地域の実質GDP成長率】 (単位：%)

国・地域	年	2017年 (予想)	2018年 (予想)
中国		6.7	6.5
韓国		2.7	2.3
台湾		2.2	2.0
香港		3.0	2.8
インド		7.2	8.1
シンガポール		2.4	2.2
インドネシア		5.3	5.5
マレーシア		5.2	5.0
タイ		3.3	3.4
フィリピン		6.7	6.9
<参考> 日本		1.4	1.0
<参考> 米国		2.2	2.4
<参考> 全世界		3.4	3.4

(注) データは2017年6月16日時点の予想。予想は三井住友アセットマネジメント。
(出所) IMF、各国・地域のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**

2017年7月 6日 安定する中国経済 景況感は改善、安定成長で株価は堅調に推移
2017年6月28日 アジアの通貨動向 (2017年6月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。